

会議録

会議名	第2回 港区災害廃棄物処理計画策定支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年2月8日(月) 午前10時30分～午前11時45分
開催場所	ウェブ会議により開催
委員	田中充委員、新井樹夫委員、多島良委員、武田和彦委員、鈴木健委員
事務局	環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 第1回選考委員会議事録について (2) 第一次審査通過者の決定について (3) 第二次審査について 3 今後のスケジュールについて 4 閉会
送付資料	資料1 第1回選考委員会 議事録(案) 資料2 第一次審査集計結果 資料3 第3回選考委員会進行スケジュール(案) 資料4 第二次審査の実施に関する留意事項(案) 参考資料1 事業候補者募集要項(仕様書(案)、選考基準を含む。) 参考資料2 様式集 参考資料3 第二次審査表
会議の結果及び主要な意見	

(発言者)	<p>1 開会 2 議題 (1) 第1回選考委員会議事録について (資料1に基づき事務局説明) 資料1の内容で了承</p> <p>(2) 第一次審査通過者の決定について (資料2に基づき、事務局説明(事務局採点及び加点部分含む。))</p>
委員長	事務局採点及び加点結果について説明いただきましたが、この内容でよろしいでしょうか。
各委員	了承
委員長	では、委員採点分について、各委員から講評をお願いします。
A委員	<p>様式7について、事業者Aの記載内容に関しては、仮置場確保の問題や、産業廃棄物処理施設が区内に立地していないことなど、課題がこれ以上にあるのではないのでしょうか。課題を拾いきれていない印象です。また、様式7-2では、東京都のマニュアルに固執しすぎており、こうしたマニュアルや計画を踏まえつつ、区の特徴を出して進めた方がよいのではないかと感じました。</p> <p>事業者Bは、区の土地柄を捉えており、高層ビルからの搬出方法や、産業廃棄物について触れている点、東京都産業資源循環協会、多摩地域市町村との連携が具体的である点など、評価しました。</p>
B委員	<p>事業者Aは考察が深い一方で、実践面で観念的過ぎであり、事業者Bはより身近な目線での提案である印象です。個別具体的には、事業者Aについて、各種タイムラインの整合を図るのは重要ですが、足並みをそろえて作り上げるのはハードルが高いと思います。事業者Bについては、掘り下げについては事業者Aに比べて浅いですが、様式7-2において、不測の事態にも留意してボランティアを活用することや、平時における人材育成、災害時におけるアクションプランの視点が分かりやすく提案され、地に足がついている点を評価しました。</p>
C委員	<p>全体的な印象として、事業者Aの人材育成は具体的に示されており、経験豊富であることがうかがえます。事業者Bについては、とにかく記載内容が分かりやすいという印象でした。</p> <p>ただし個別具体的に見ると、事業者Aはタイムラインを強調していますが、今ひとつストンと落ちる説明がなく、どのような意味でタイムラインの整合が図れていないと捉えているのか分かりづらく、その他全体的に評価の視点が書ききれていないのが散見されます。事業者Bについては、課題は体系的で簡潔、初動対応も分かりやすいと感じました。通常の一般廃棄物処理の継続についても明記されています。区部における災害廃棄物回収の困難さ、一次仮置場に集約することの難しさが書かれています。あえて指摘するならば、災害廃棄物処理計画を継続的に更新しブラッシュアップすること、その他人事異動に対応する記載がもう少しあると良いかと思いました。</p>
D委員	<p>両事業者とも一定の水準に達していると評価しますが、事業者Bの方に説得力があります。</p> <p>個別具体的には、様式7に、日頃から自宅内の不要物の処分を呼びかける記載があり、</p>

	<p>こうした視点はこれまでありそうでなく、細かく考えてくれています。また様式7-2において記載されている「所長等の指揮者は、発災直後は区災害対策本部会議等への出席により不在になることが多いため、実働部隊のリーダーを選定し、指揮者の指示を各委員へ適切に指示するための体制を検討します」の箇所は、内容は当たり前ですが現実をよくわかっており、具体性があります。様式7-3の表2は、港区の特性をよく理解してまとめており、課題となる事項も説得力があります。様式7-4についても、コンセプトとして分かりやすい計画を作る、見える化していく、という視点が評価できます。</p> <p>一方事業者Aについては、一定水準に達していますが、一般論、べき論に徹している印象であり、分かりにくいと感じました。</p>
E委員	<p>他の委員とほぼ同じで、事業者Aについては記載内容が一般論であり、港区の地域の課題に即して、実態に寄り添った提案ではなく、抽象性が見受けられました。事業者Bについては、港区の実態を踏まえ、留意点や処理計画に盛り込む内容が整理されており、事業者Bをより評価しました。</p>
委員長	<p>各委員に講評いただきました。いずれの事業者も、満点の60%は上回っておりますが、項目によっては事業者AB間において、また委員間において大きな差が出ているものもあります。これらの点について、何か追加のコメントがあればご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。</p>
A委員	<p>事業者Aについては抽象的な記載が多く、事業者Bが具体的に記載していたため、事業者Bを高く評価しています。一方で、今後どのように研修や訓練に取り組んでいくのか等については、いずれの事業者についても、もう一步踏み込んでほしいという思いがあります。いずれの事業者に決まったとしても、計画策定に当たってはより強く事業者にも要請した方がよいと思います。</p>
委員長	<p>委員ご指摘の点については重要なところですので、事業者が決まり実際に打合せ等が始まったら、事務局から伝えていただければと思います。</p>
D委員	<p>ご指摘の点については、第二次審査のヒアリングの際に、質疑事項として考えておくという案もあるかと思えます。</p>
C委員	<p>点数に様式7-2、7-3で事業者AB間に開きがありますが、改めて見ても、点数に開きがあるのは妥当かと考えています。事業者Aは、課題にきちんと答えていないため、第二次審査で補足があれば知りたいと考えています。</p>
E委員	<p>事業者Bの方が、企画提案の内容を理解しており、趣旨に沿ってまとめてきています。一方事業者Aは知っていることを当てはめたようで、見劣りがします。今後処理計画を策定する段階において、事務局からの指示が正確に伝わるかという点において、事業者Aは物足りないのではないかと感じました。</p>
委員長	<p>これまでの審議を踏まえ、ご自身の採点結果を修正したい委員がいらっしゃる場合は時間を設けますが、いかがでしょうか。</p>
各委員	<p>修正なし</p>
委員長	<p>ありがとうございます。では、修正なしとします。</p> <p>この結果を第一次審査結果とし、1位は事業者B、2位は事業者Aとします。</p> <p>第一次審査の通過事業者は3者程度としており、第一次審査の通過条件は満点の60%以上の得点としているところ、2者とも合致しているため、事業者ABいずれも第一次審査を通過ということによろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>

委員長	では、いずれの事業者も、第二次審査に進むこととします。
A 委員長 委員長 事務局 委員長	<p><b>(3) 第二次審査について</b> (資料3・4に基づき事務局説明)</p> <p>事業者からの提出資料は、第二次審査当日に各委員が持参しますか。事前に事務局に送っていただき、事務局が保管しておいてもらうことはできますか。では、返信用封筒にて事務局あて事前に送付いただくようお願いします。緊急事態宣言が続いていますが、第二次審査の実施方法についてオンラインも交えることは可能ですか。</p>
事務局	第二次審査については、感染対策を徹底した上で、できる限り集合形式での実施をお願いできればと思います。ただし、集合での実施が難しい状況が発生した場合に、集合形式と同等の環境を整えることができれば、選考委員会においてその旨を確認・了承した上でオンラインを交えることも可能です。
委員長	第二次審査の質疑の時間は20分設定していますので、かなりの程度確認ができると思います。あらかじめ資料を読んでおり疑問点のチェックはできているため、結果として短く審査が進む可能性もあります。2番目にヒアリング・プレゼンテーションを行う事業者も早めに来てもらうよう、配慮をお願いします。
	<p><b>3 今後のスケジュールについて</b> 次回の選考委員会は、2月25日(木)10時から芝浦区民協働スペースにて開催</p>
	<p><b>4 閉会</b></p>